

一般紙は生活保護たたき

神奈川 30代女性

生活保護バッシング報道がきっかけになり、「共産党の主張を知りたい」とインターネットで調べるうちに反撃している「赤旗」の存在を知り、昨年6月「赤旗」日刊紙を申し込みました。

母子家庭で育ちました。大学進学 of 学費を自分で稼ごうと無理を重ねて体を壊し、いま生活保護を受けています。19歳のころ、医師に仕事を休むようにいわれても、個人で労災申請ができることも知りませんでした。

反撃する存在見つけた

テレビや一般紙が生活保護の不正受給について誇張した報道をし、バッシングに加担するのにはたいして、「赤旗」は、生活保護の情報をきちんと書いてくれていました。

体調が悪く、見出しだけを読むときもあります。

貧困問題の記事、生活保護基準切り下げ問題の記事、学費や医療費がヨーロッパではどうなっているかが分かる記事をよく読みます。

労働組合の活動やデモで声をあげている人のことは、一般紙では見たこともありませんでした。

貧困からはい上がれないことは、自分だけの責任ではないことがわかりました。応援しています。